

②プローブ情報活用ワーキンググループ(WG)の取組状況について

1. 設置趣旨

県内の自動車メーカーが保有するプローブ情報について、交通事故の防止、事故数減少に資する交通安全施設の設置等の交通安全対策への活用を検討する。

2. 構成メンバー

トヨタ自動車(株)、中部地方整備局、県警本部交通部交通総務課、
県警本部交通部交通規制課、県建設部道路維持課・産業労働部産業振興課、
豊橋技術科学大学・松尾研究室（アドバイザー）

3. 検討事項

- (1) プローブ情報の交通安全対策への有効性の確認
- (2) プローブ情報の交通安全対策への活用
- (3) プローブ情報活用により実施した交通安全対策の効果検証 など

4. これまでの活動内容

【平成25・26年度】

[着目： **A B S** 情報]

ABSが多発している箇所の情報を活用。

【平成27年度】

[着目： **リンク平均速度とA B S**]

ある道路区間(リンク)を通過する車両から収集、計算したリンク毎の車速の平均値のデータであるリンク平均速度情報とABS情報を活用。



【平成28年度】

[着目： **高車速での停止エリア進入情報とA B S**]

規制の停止位置付近のエリアに速い車速で進入したと判断されるデータである高車速での停止エリア進入情報とABS情報を活用。



【平成29年度】

[着目： **天候データとA B S**]

気象庁が発表している時間帯別降水量データから降水量3mm未満を晴れ、3mm以上を雨とした天候データとABS情報を活用。



5. WGの流れ

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
(1)新たなプローブデータの分析			事故危険箇所の抽出		
(2)天候情報とABS			道路対策の実施		
(3)高車速での停止エリア進入情報とABS			効果検証		

平成30年度のプローブ情報活用WGの活動内容

(1) 新たなプローブデータの分析について (事故危険箇所の抽出)

1年目

1. 分析テーマ

高車速リンク情報およびABS情報を活用した自治体連携型交通安全マネジメント

2. 分析内容

車速が速い車両の割合や、交通量に対するABSの発生頻度に基づき、自治体の道路管理者と連携して分析を行い、事故の危険が予測される箇所を抽出。

3. プローブデータの内容

- ① 対象道路 (方向別) の速度が10km/h毎の通過台数
- ② 対象道路 (方向別) のABS発生件数

4. 抽出対象期間

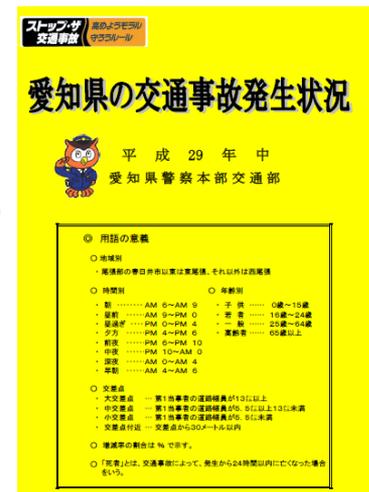
平成29年1月から平成29年12月まで (12ヶ月間)

5. 対象となる自治体及び道路

豊橋市、岡崎市、春日井市内の市道中心

※参考資料

「愛知県の交通事故発生状況」(愛知県警察本部交通部作成)
から人身事故の件数の多い自治体に協力を依頼。



1. 分析対象地域

豊田市, 岡崎市, 一宮市, 豊橋市, 蒲郡市, 新城市, 田原市, 大府市, 蟹江町, 愛西市, 西尾市, 南知多町の国道、主要地方道、一般県道 (気象観測データがある地域)

2. 活用データ

- ・リンク別・晴雨別の交通量およびABS発生件数のプローブデータ
- ・時間帯別降水量 (ただし、降水量3mm未満を晴, 3mm以上を雨とする。) の気象データ
- ・交通事故情報 ・ (参考資料) ETC2.0プローブデータ 等

3. 選定方法

晴天時に比べて雨天時にABSの発生率が高く、雨天時に事故が発生している地点
(豊橋技科大・松尾研究室との協働)

4. 現地調査箇所

	道路種別	路線名	箇所名	道路管理者
①	一般国道	国道153号	豊田市東新町2丁目78番地(東新町2丁目交差点)	名古屋国道事務所
②	一般国道	国道1号	豊橋市下地町宮腰35番地(地内交差点)	名古屋国道事務所
③	主要地方道	岡崎環状線	岡崎市小呂町4丁目50番(小呂町4丁目交差点)	愛知県道路維持課
④	主要地方道	県道76号	豊田市永覚町上長根付近	愛知県道路維持課

5. 現地調査によるABS発生原因の推定と対策内容

(例) 豊田市東新町2丁目交差点
【ABSの発生状況】



交通量が多く、交差点の前では渋滞が発生



下り坂でスピードが出やすい道路構造

箇所名	ABSの発生原因の推定	道路及び交通対策(抜粋)
豊田市東新町 2丁目交差点 (国道153号線)	交通量が多く、渋滞が起きやすい道路で、雨天時はさらに視界が悪くなることから、路面状況が見えづらい。	<ul style="list-style-type: none"> ・路面標示の塗り直し ・横断歩道の前出し
	下り坂でスピードが出やすい道路で、雨天時は晴天時に比べ、路面が滑りやすい。	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点内の道路舗装の補修 ・ドットラインの延伸

6. 現地調査結果のまとめ

現地調査の結果①	<ul style="list-style-type: none">・長い直線道路や下り坂でスピードが出やすい道路において、交差点の渋滞や抜け道利用の車の影響で、ブレーキを踏む機会が多い。・雨天時はタイヤと道路との摩擦係数が少ない事から、ブレーキを踏むと滑りやすい。
現地調査の結果②	<ul style="list-style-type: none">・緩やかなカーブや路面標示が薄くなっている箇所は、ドライバーの道路状況認識が遅れる可能性がある。・雨天時はドライバーの視認性が悪くなる。

上記の結果を踏まえ



現地調査を実施した4箇所について、雨天時の道路実態を考慮した対策など、今年度中に合計31件の道路及び交通規制対策を進めることで、交通事故の減少に繋がることが期待できる。



1. 経緯

平成28年度：高車速での停止エリア進入によりABSが発生し、事故の発生が予測される7箇所を抽出した後、現地調査を実施。

【取得期間】平成27年1月～12月（1年分）

【対象】・道路種別：愛知県内道路(高速道路、名古屋市内道路を除く)

- ・選定条件：①高車速での停止エリア進入が1年で10件以上の地点
- ②ABS発生件数が1年で3件以上の地点

・除外要件：①整備の難しい地点(踏切など)

②意図的な一時停止無視が多いと考えられる地点(右側の見通しがよい地点等)

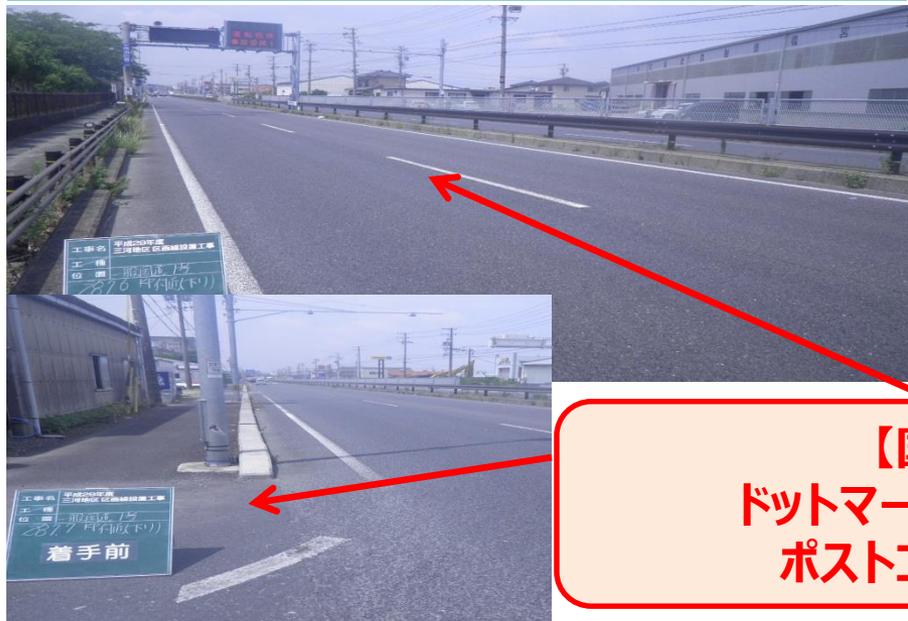
平成29年度以降：現地調査を実施した7箇所の道路交通対策を実施。

2. 対策実施箇所

	路線名	地名	ABS件数(方角別) H27.1~12		高車速での 停止エリア進入情報
①	(幹)国道1号 (側)豊橋市道	豊橋市二川町東向山	西1件	北2件	51件
②	(幹)岡崎市道 (側)岡崎市道	岡崎市高隆寺町(中央総合公園)	西7件	北7件	628件
③	(幹)岡崎市道 (側)岡崎市道	岡崎市高隆寺町(中央総合公園西)	東3件	西1件	350件
④	(幹)県道483号 (側)岡崎市道	岡崎市中田町(羽根ガード東交差点北)	北3件	東2件	155件
⑤	(幹)県道26号 (側)岡崎市道	岡崎市大西町(光が丘交差点北)	北4件	東2件	626件
⑥	(幹)県道483号 (側)岡崎市道	岡崎市明大寺町長泉	南5件	南西1件	178件
⑦	(幹)豊田市道 (側)豊田市道	豊田市緑ヶ丘1交差点北	東3件	北2件	622件

3. 対策実施結果 (抜粋:豊橋市二川町東向山)

対策前



対策後



【国道】
ドットマーク路面標示
ポストコーン設置



【市道】カラー舗装を設置

高車速突入 51件

4. 効果検証について

比較方法：「前年同月」及び「比較基準日前後」の2つの方法で効果検証を実施

- A) 前年同月で比較 前年(対策前)：平成29年4月～11月(8か月間)
今年(対策後)：平成30年4月～11月(8か月間)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
29年				比較期間								

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
30年			基準日	比較期間								

- B) 基準日前後で比較 基準日前：平成29年7月～平成30年2月(8か月間)
基準日後：平成30年4月～11月(8か月間)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
29年							比較期間					

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
30年	比較期間		基準日	比較期間								

今年度のプローブ情報活用WGのスケジュール

平成30年度	
会議	<p>▲7月18日 第1回WG</p> <p>●9月14日 第12回PT</p> <p>▲10月(予定) 第2回WG</p> <p>▲2月(予定) 第3回WG</p> <p>●3月(予定) 第13回PT</p>
①プローブデータの新たな分析の可能性	<pre> graph LR A[データの検討・分析] --> B[現地調査候補選定] B --> C[現地調査] C --> D[対策箇所の決定 対策案の検討] </pre>
②天候情報とABS	<pre> graph LR A[対策の実施 (4か所)] --> B[] </pre>
③高車速での停止エリア進入情報とABS	<pre> graph LR A[データ収集] --> B[効果検証] </pre>